

式辞

穏やかな春の日差しが降り注ぎ、ここ西宮の地、夙川や甲山の桜も満開となり、目にも一段と鮮やかな季節を迎えました。本日この佳き日、ここに、平成二十九年度兵庫県立西宮甲山高等学校第35回入学式を挙げていくことは、誠に大きな喜びであります。この希望にあふれた日に、公私ご多用の中、ご臨席賜りました、ご来賓の方々や保護者の方々に、高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。

さて、ただ今入学を許可いたしました二百名の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、先ほど新しい担任の先生から一人ひとりの名前を呼ばれ、それぞれが「はい」と返事をしました。皆さんは、入学の宣誓をされたのです。そして「はい」と返事をされた皆さんに対して、私は入学の許可をいたしました。私ども教職員一同、心から祝福し歓迎します。しかし、この場にいることができるのは、皆さんを慈しみ、育ててこられた保護者の方をはじめ、多くの人々の力添えがあったことに対して、感謝の気持ちを忘れてはなりません。このことをしっかりと自分の胸に刻み、本校での第一歩を踏み出してください。

さて、西宮甲山高校は、「己を究め、ふれあいのなかに、明日を拓く」という校訓をまさに基として、豊かな自然のもと地域に密着した学校であります。そのような中で、私たち教職員と在校生は、森の学校だからできることがある、小さな学校にしかできないことがある、を合い言葉に、「阪神間でオンリーワン」の魅力ある学校づくりを教職員・在校生一丸となって行っています。例えば、現在、本校では少人数クラス展開を実施しています。定員二百人、通常は五クラス規模の学年ではありますが、本校では六クラスに編成し直し、ホームルームや授業を行うことで、よりきめ細やかな指導、対応を行っています。また、豊かな自然を生かした本校独自の設定科目や甲山自然観察リーダー養成講座など、特色ある選択科目を用意しています。さらに、オリエンテーション合宿、西宮南高校との運動部定期戦を始めとするさまざまな魅力的な学校行事も、皆さんを待っています。ぜひ積極的に参

加し、高校生活を大いに楽しんでいただけたらと思います。

さて皆さんはそのような甲高への入学にさいし、喜びと、これから始まる高校生活への少しの不安、そして将来への大いなる希望に胸を膨らませていることでしょう。そのような高校生活のスタートにあたり、校長として基に沿って、お願いをいたします。

基の一つ目は、「己を究め」です。それは、この甲高で一所懸命「勉強」してほしいということです。学校はやはり勉強をするところです。勉強には、さまざまな形があります。先生から教わることも大切ですが、自らが学ぶ姿勢を育むことが、もっとも重要であると考えています。少人数クラス編成など、本校にはそのための条件は整っています。あとは、皆さんがその気になって、しっかり先生方についていくことです。

基の二つ目は、「ふれあいのなかに」です。皆さんは本校で、たくさんの人、仲間と出会うことでしょう。仲間と協力して物事を成し遂げる、切磋琢磨しながらお互いに高みへ登る、困ったときには相談したり、将来の夢を語ったりするなかで友情をはぐくむことができれば、皆さんの人生はたいへん豊かなものになるでしょう。また、先生方との絆も大切にしてほしいと思っています。私たち教職員一同は、生徒の皆さんの夢の実現のために、努力を惜しまない所存です。先生の話をしっかり聞き、その指導に従うこと、わからないことは積極的に聞くことを通して先生方との絆を深めてほしいと思っています。

基の三つ目は「明日を拓く」です。これについては、皆さんに、一つの言葉を贈ります。皆さんも一度は聞いたことがあるでしょう。Boys! be ambitious! という言葉です。この有名な言葉を残したクラーク博士は、明治8年、札幌農学校の教頭として招かれたアメリカの教育学者です。学生たちに大きな影響を与え、わずかに8か月の在任だったにもかかわらず、その功績をたたえ銅像が作られました。札幌では観光スポットとなり、多くの観光客がそこで記念写真を撮っています。Ambitiousは、大志と訳されますが、平たく夢といっても、大きく野望といってもよいでしょう。皆さんもぜひ、志をもって高校生活やその先の自分の人生に立ち向かっていってほしいと思っています。さて、クラーク博士はこの言葉

に続いて興味深い言葉を残されています。「少年よ、大志を抱け。それはお金のためではなく、自己の利益に対してでもなく、世の人が名声と呼ぶあのむなしいもののためでもない。人はいかにあるべきか、その道を全うするために少年よ、大志を抱け。」世の中では、お金や保身のために醜い争いや発言をしてそれが報道されるということが珍しくありません。それに対し災害でのボランティア活動やスポーツなど人々に感動や喜び、癒しを与える人たちもたくさんいます。小さな夢でも大きな野望でも、志を正しく持ち、それに向かって努力をすることは、人がいかにあるべきか、人がどう生きるべきかを追求することに他ならず、夢を追う、ただただ純粋な心が時として人に感動を与えることになるのです。やがては皆さんも激動の社会に入ることでしょう。多様な価値観や変化の激しさに振り回されるかもしれません。逆に、そのような社会だからこそ、人はいかにあるべきかという原点、人としての基本を大切に生きることができれば、それを自分の中心として様々な困難にも立ち向かえる人となるのではないのでしょうか。どうか志をもって、日々努力し、人がどうあるべきかを学んでいってくださることを期待します。

以上、三つの基を通して、甲高に対する愛校心を持ってほしいと思っています。

最後に、保護者の皆さまに一言お願いを申し上げます。私たちは本日からお子様をお預かりし、三年後には大きく成長した姿で、卒業生として送り出したいと、強く願っています。しかし、教育は学校だけで、できるものではありません。まずは、学校とご家庭ができる限り同じ教育方針で子育てを行うことが重要であると考えています。学校とご家庭で言われることが違うことほど子供たちにとって可哀そうなことはありません。どうか本校の教育方針をご理解いただき、ご協力を賜りたいと考えておりますのでどうぞよろしく願いいたします。また、子育てにはご家庭でしかできないこともあり、ご家庭におかれましても、ぜひ学校の様子を聞いていただき、お子様の成長を見守っていただければと存じます。あわせて、お子様が健康で規則正しい生活を送れるようサポートしていただきますようお願い申

し上げます。もし、何か心配なことがございましたら、遠慮なく担任までご連絡ください。本日入学された生徒の皆さん全員が、この三年間に大きく成長し、地域社会に貢献できる人材となって羽ばたくことを祈念し、平成二十九年度 第三十五回入学式の式辞といたします。

平成二十九年四月十日

兵庫県立西宮甲山高等学校長 山村修平